

水害から身を守る

気象台からの気象情報は、市町ごとに発表されます。万に備え、市民の皆さんも日頃からテレビ、ラジオなどで気象情報を確認するように心がけましょう。

雨の降り方と雨量

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を知っておきましょう。

	やや強い雨 10~20mm	強い雨 20~30mm	激しい雨 30~50mm	非常に激しい雨 50~80mm	猛烈な雨 80mm以上
雨の降り方 1時間雨量 (mm)					
人へのイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる	
屋内 (木造住宅の場合)	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	ほとんど影響なし	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

避難情報の種類と避難行動及び水位と洪水予報の関係

河川の水位が上昇し、氾濫の危険性が高まった場合は、河川を管理する国や県、気象台が共同で、水位や防災に関する情報を発表します。市は、この情報を目安にして、雨の降り方などを総合的に判断した上で避難指示等の避難に関する情報を発令します。



土砂災害から身を守る

土砂災害とは、土石流、急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)、地すべりのことをいい、勾配の急な山やがけ、溪流のある地域に発生します。土砂災害のほとんどは、長雨や地震に起因し突然発生します。特に長雨や大雨の場合は、大量の水分が地中にしみ込み、その量が多いほど斜面の土が弱くなり、災害の発生する可能性が高くなります。このため、災害が発生するおそれのある区域をあらかじめ把握し、大雨などの際には気象情報の収集を行い、身の危険を感じたら早めの避難を心がけてください。

竹原市で想定されている土砂災害の種類と前兆現象

がけ崩れ

警戒区域
特別警戒区域

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象

高さ5m以上
勾配30度以上

このような前兆れに注意!
 ◆ がけから水がわき出ている
 ◆ がけから小石がばらばらと落ちてくる
 ◆ 地鳴りがする ◆ がけにひび割れができる

土石流

警戒区域
特別警戒区域

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象

このような前兆れに注意!
 ◆ 山鳴りがする
 ◆ 急に川の水が濁り、流木が混ざりはじめる
 ◆ 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

警戒区域は、土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

特別警戒区域は、警戒区域のうち土砂災害が発生した場合に、建築物に損傷が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。一定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

※土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

「土砂災害警戒情報」をご存じですか? これは、大雨による土砂災害発生のおそれが高まったとき、市が避難指示などを発令する際の判断や、住民の皆様への自主避難の参考となるよう、県と気象台が共同で発表する防災情報です。ただし、土砂災害は地質や地形、地下水の状況などに大きく影響を受けるため、発生の詳細な情報を特定することはできません。土砂災害警戒情報が発表された場合はもちろん、発表されていない場合、斜面の状況などに注意を払い、前兆現象に気がついたら、直ちに安全な場所に避難し、市役所などに連絡しましょう。

大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがある状況

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがある状況

さらに大雨が続くと

土砂災害警戒情報

大雨による土砂災害発生のおそれが高まった時、都道府県と気象台が共同で発表

避難時に注意すること

◆まずは事前の確認!

土砂災害から避難するためには、事前に危険箇所を確認し、災害の前兆現象を知ることが大切です。防災マップを使って確認しておきましょう。

◆寝る場所にも注意!

就寝中に発生する場合があります。日頃から、がけから離れた2階の部屋に寝るなど土砂災害に備えましょう。

◆土石流は垂直に逃げる!

がけ崩れの前兆現象を発見したら、斜面からできるだけ遠くに逃げましょう。土石流の場合は、土砂の流れる方向に対して垂直に逃げるようにしましょう。

土砂災害(特に土石流)の場合、屋内安全確保を行っても家屋全体が倒壊、流失、埋没する危険性があるため、早めに立ち退き避難を始めましょう。

※ 屋内安全確保…自宅の斜面と反対側の2階等、可能な限り安全な場所への移動(避難行動)です。
 ※ 立ち退き避難…避難所への移動、自宅から安全な場所(公共施設、親戚、友人宅等)、近隣の頑丈で丈夫な高い建物等への移動(避難行動)です。

ため池災害から身を守る

日々の備えが、ため池と地域を守ります

市内には多くの「ため池」があり、地域の水がめとして、重要な役割を担っています。しかし、大雨や地震により、「ため池」が決壊すると、甚大な被害をもたらすため、日々の点検や管理を十分に行うとともにいざという時の備えをしておくことが大切です。あなたの身近にある「ため池」は、大丈夫ですか？



37.半三池(吉名町)



29.二反田池(小梨町)

ため池と地域を守るための、4つの行動目標

①ため池がどんな状況なのか 知ろう

ため池の状況(堤体の変形・漏水)を把握していますか。堤体に陥没やひび、水がしみ出しているところや歩くとき濡って柔らかくなったところはありませんか？
堤体の立ち木や雑草は刈払しましょう。堤体に草木が繁っていると、漏水やひび割れなどが発見しにくくなります。

②災害発生の危険性をいち早く 察知しよう

危険を知らせる気象情報を確認しましょう。テレビ(データ放送)、ラジオ、インターネット、防災情報メールなどで、気象情報を確認しましょう。
大雨の前夜や地震後には、異常がないか緊急点検を実施しましょう。
大雨の前夜や地震後には、ため池に異常がないか緊急点検をしましょう。

もしため池が決壊すると
下流の住宅や公共施設等に
大きな影響を与えます。



平成28年6月23日に発生したため池の決壊状況(福山市)

③自らが判断して適切に 行動しよう

ため池の異常を発見した場合は、市に連絡し、応急対策を行いましょう。
異常を発見した場合は、市等に連絡するとともに、緊急放流や、シート掛けなどの応急対策を行いましょう。
ため池の決壊のおそれがある場合は、地域住民で助け合って行動しましょう。
決壊のおそれがある場合、周りの人に伝え、安全な場所へ避難しましょう。

④ため池が被災した場合の被害を軽減するため 備えよう

必要以上に水を溜めていませんか？
宮農状況の変化により、必要な水の量は減っていませんか。水位を下げ、大雨や地震による被害を軽減しましょう。
ため池が決壊した場合の避難について、地域住民で話し合い、災害に備えましょう。
避難場所や避難経路を確認し、連絡体制を整えましょう。

防災重点ため池とは

決壊した場合、浸水想定区域内に家屋・公共施設があり、人的被害を与えるおそれがあるため池。

防災重点ため池一覧

番号	ため池名称	所在地	浸水想定区域の表示	掲載ページ
1	田万里新池	田万里町字西小寺11343	○	15
2	奥野原池	田万里町字奥野原1658		21
3	白井原下池	田万里町字白井原2299		21
4	丸沢田池	西野町字丸沢田906		19
5	観音上池	西野町字西野路10854		22・23
6	観音中池	西野町字西野路10855		22・23
7	観音新池	西野町字西野路10850-14		22・23
8	観音下池	西野町字西野路10856		22・23
9	寺下池	新庄町字寺1496		24・26
10	鷺の森小池	新庄町字東鷺の森1666		24・26
11	末森池	新庄町字江草10281-9		26
12	牛倉池	新庄町字江草10282		26
13	森川池	新庄町字白石216		28
14	奥の池	新庄町字白石212		28
15	大池	新庄町字東原甲1025		26
16	松橋池	新庄町字北松橋10571		26・28
17	柏谷池	仁賀町字柏谷673		20
18	繁内横池	仁賀町字大藤谷2173		17・18
19	銭亀池	仁賀町字前南ヶ10792-2		17
20	手洗池	仁賀町字東坂谷11395		17
21	澤田井出池	仁賀町字古川75		20・23・27
22	柳ヶ迫池	下野町大字下野字宿上谷75		32
23	岡田池	下野町大字下野字宿郷228		32
24	天池	竹原町大字竹原字多井ノ割2763	○	37・38
25	大谷池※	下野町大字下野字大南山11402-2		37
26	ひょうたん池	竹原町大字竹原字吉良崎2689		35・38
27	猶木小池※	東野町字下青田1856		27
28	猶木大池※	東野町字下青田1858		27
29	二反田池	小梨町字寺迫9567-1		29・34
30	坂田の池	東野町字上柏野1190		20・27
31	瀬戸池	下野町大字下野字受芦谷3695	○	28・33
32	大池※	下野町大字下野字高下谷4031,4032		31
33	竹下池	吉名町字毛木迫1041-2		37
34	小林の池	吉名町字西ヶ崎甲10053		37
35	明神池※	吉名町字明神平10291	○	39・40
36	西池	吉名町字諏訪谷1838		40
37	半三池	吉名町字大門1891	○	37・39・40
38	天籠池	吉名町字奥山10214-1	○	39・40
39	竜泉池	吉名町字浦ヶ平10436-1		40
40	名荷池	吉名町字久保谷2933		41
41	平井の池	吉名町字柏原3044		41
42	矢の熊池	吉名町字矢ノ熊4281		41
43	海床池	忠海町字海床2201-2, 2204-1, 2204-2		45
44	檀松池	忠海町字檀松谷4253		45
45	船ヶ谷池	東広島市河内町大字入野	○	23

※今後ため池廃止事業が予定されています。

洪水・土砂災害ハザードマップ

洪水・土砂災害ハザードマップとは

賀茂川(水位周知河川)の氾濫により、浸水が想定される区域(浸水想定区域)と、がけ崩れや土石流などによる土砂災害のおそれのある区域(土砂災害警戒区域・特別警戒区域)、避難場所などを示した地図です。この冊子に掲載している防災ガイドやハザードマップをよく読み、いざというときの安全かつスムーズな避難行動につなげてください。
※このハザードマップに示された浸水想定区域等の危険箇所以外の安全を保障するものではありません。

洪水・土砂災害ハザードマップの使い方

① 自宅の位置と危険区域の有無を確認

自宅がある場所や周辺が、浸水想定区域や、土砂災害警戒区域に含まれるか、地図ページで確認しましょう。

② 付近の避難所を確認

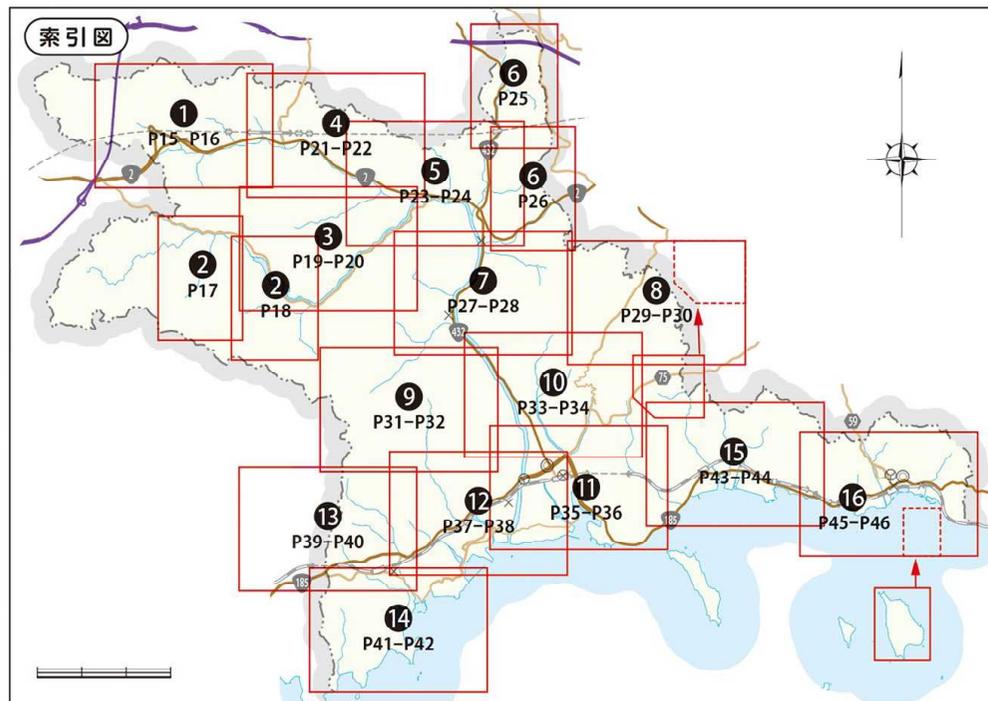
避難所までの経路を決めましょう。浸水が深い場所や土砂災害のおそれがある範囲を避けて、複数の避難経路を設定することが重要です。

③ 避難経路を歩いてみる

あらかじめ決めておいた避難経路が、安全に通行できるかを実際に歩いて確認しておきましょう。

洪水・土砂災害ハザードマップの凡例

土砂災害警戒区域(土石流)	浸水による浸水の深さ 5~10m未満	家屋倒壊等氾濫想定区域	指定避難所	市役所・支所	自動車専用道路
土砂災害特別警戒区域(土石流)	3~5m未満	氾濫流	避難場所	警察署	国道
土砂災害警戒区域(急傾斜地)	0.5~3m未満	河岸侵食	指定避難所兼避難場所	交番・駐在所	主要地方道・一般県道
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	0.5m未満	防災重点ため池	福祉避難所	消防署・分署	鉄道
			協定避難所	ヘリポート	水位観測所
				アンダーパス	雨量観測所



地図の見方

浸水想定区域

浸水想定区域図は、河川の氾濫が起こった場合の浸水区域を示しています。



- ・洪水浸水想定区域図は、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域と水深を表示しています。
- ・川が氾濫しない場合でも、低い土地などは床上床下浸水が起こる場合があります。
- ・実際は、想定と異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外も浸水することがあります。

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 氾濫流 河川の氾濫により、木造家屋の倒壊や流出が想定される区域を示しています。この想定は、一定の条件や仮定のもとに行われているため、区域はあくまで目安となります。
- 河岸侵食 河川の氾濫による河岸の侵食幅を予測し、家屋の倒壊や流出などの危険性のある区域を示しています。この想定は、一定の条件や仮定のもとに行われているため、区域はあくまで目安となります。

ため池災害に関する凡例

	5 m 以上
	3 ~ 5 m 未満
	2 ~ 3 m 未満
	1 ~ 2 m 未満
	0.5 ~ 1 m 未満
	0.2 ~ 0.5 m 未満
	0.2 m 未満
	氾濫水の最短到達時間線

ため池が満水状態の時に大雨や大地震を受け、堤防が瞬時に決壊するという最も不利な条件でシミュレーションを行っており、浸水が想定される最大の範囲を示しています。
実際には、ため池の水位、決壊の過程、土地利用の状況等により、浸水する区域に差異がありますので、あくまで目安としてご覧ください。



土砂災害に関する凡例

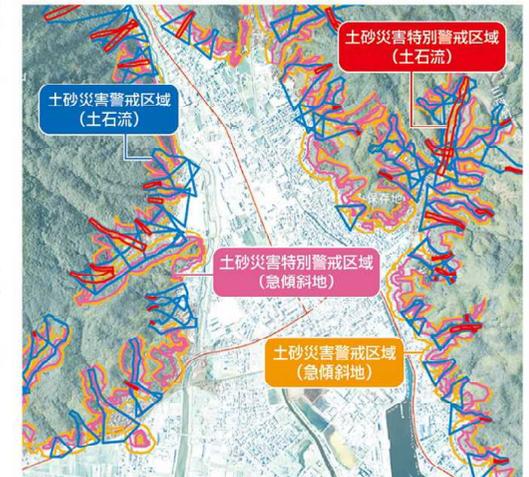
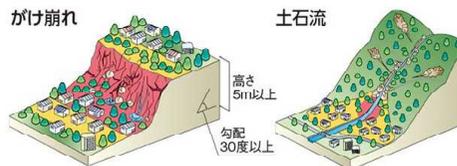
	土砂災害警戒区域(土石流)		土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)		土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

警戒区域のうち土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。一定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

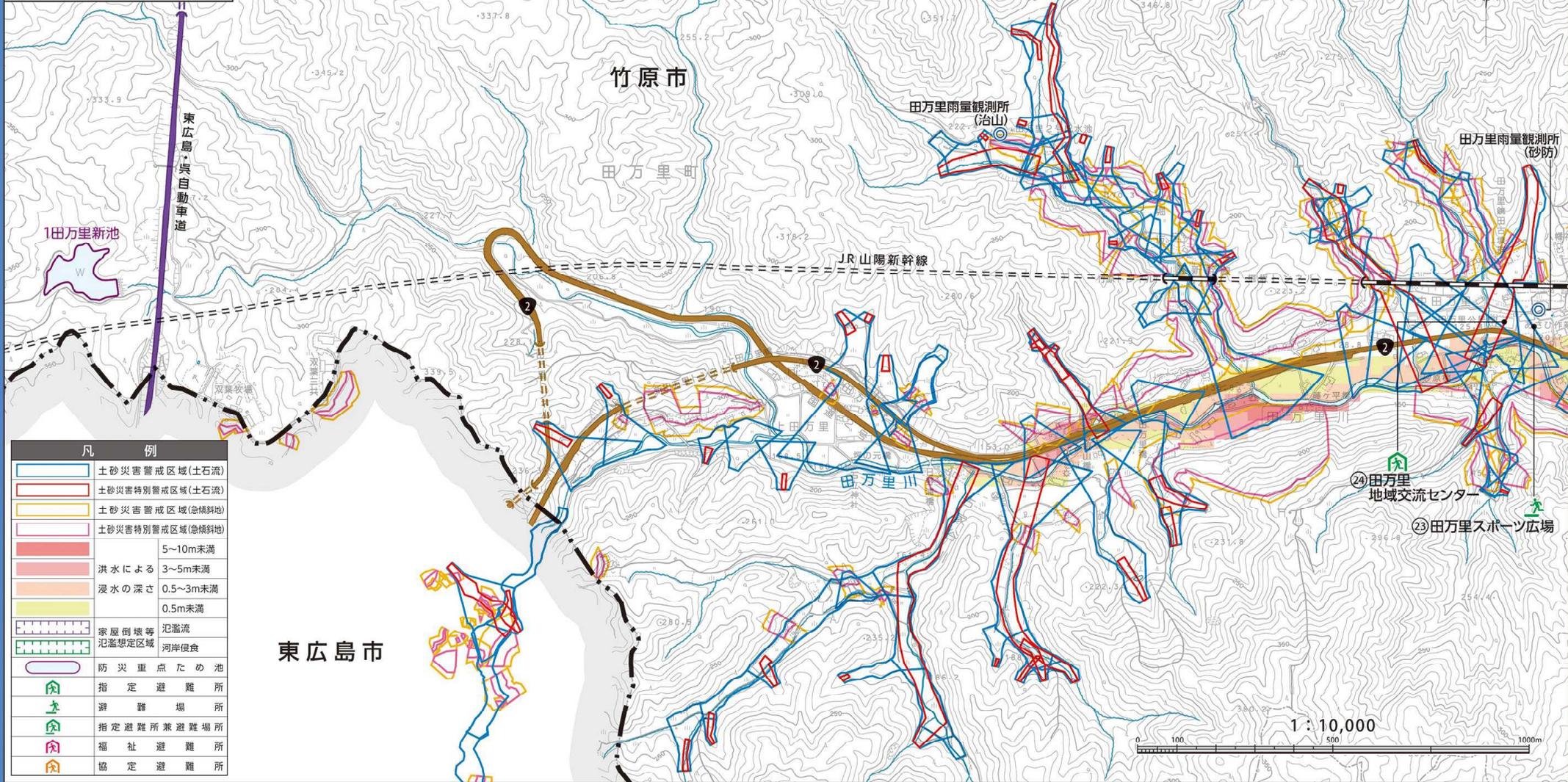
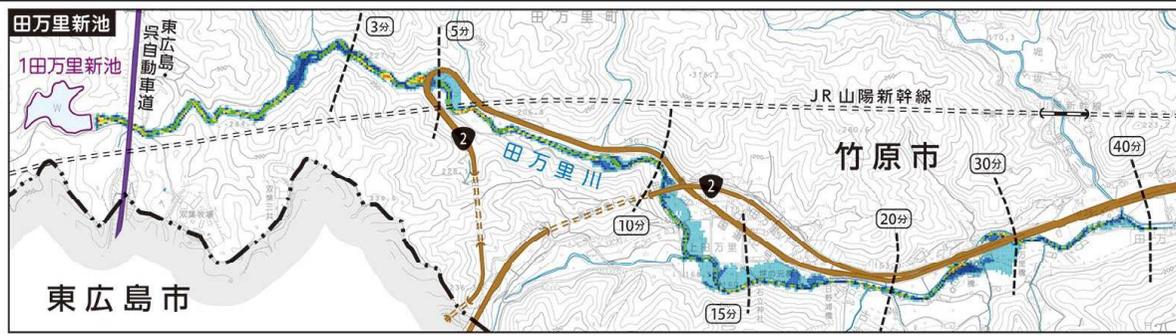
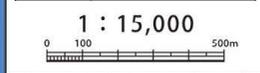


◆洪水・土砂災害ハザードマップ①

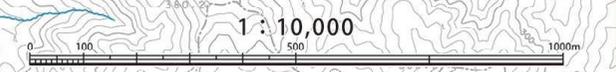
ため池ハザードマップ

この池が満水状態の時に大雨や大地震を受け、堤防が瞬時に決壊するという最も不利な条件でシミュレーションを行っており、浸水が想定される最大の範囲を示しています。実際には、ため池の水位、決壊の過程、土地利用の状況等により、浸水する区域に差異があります。

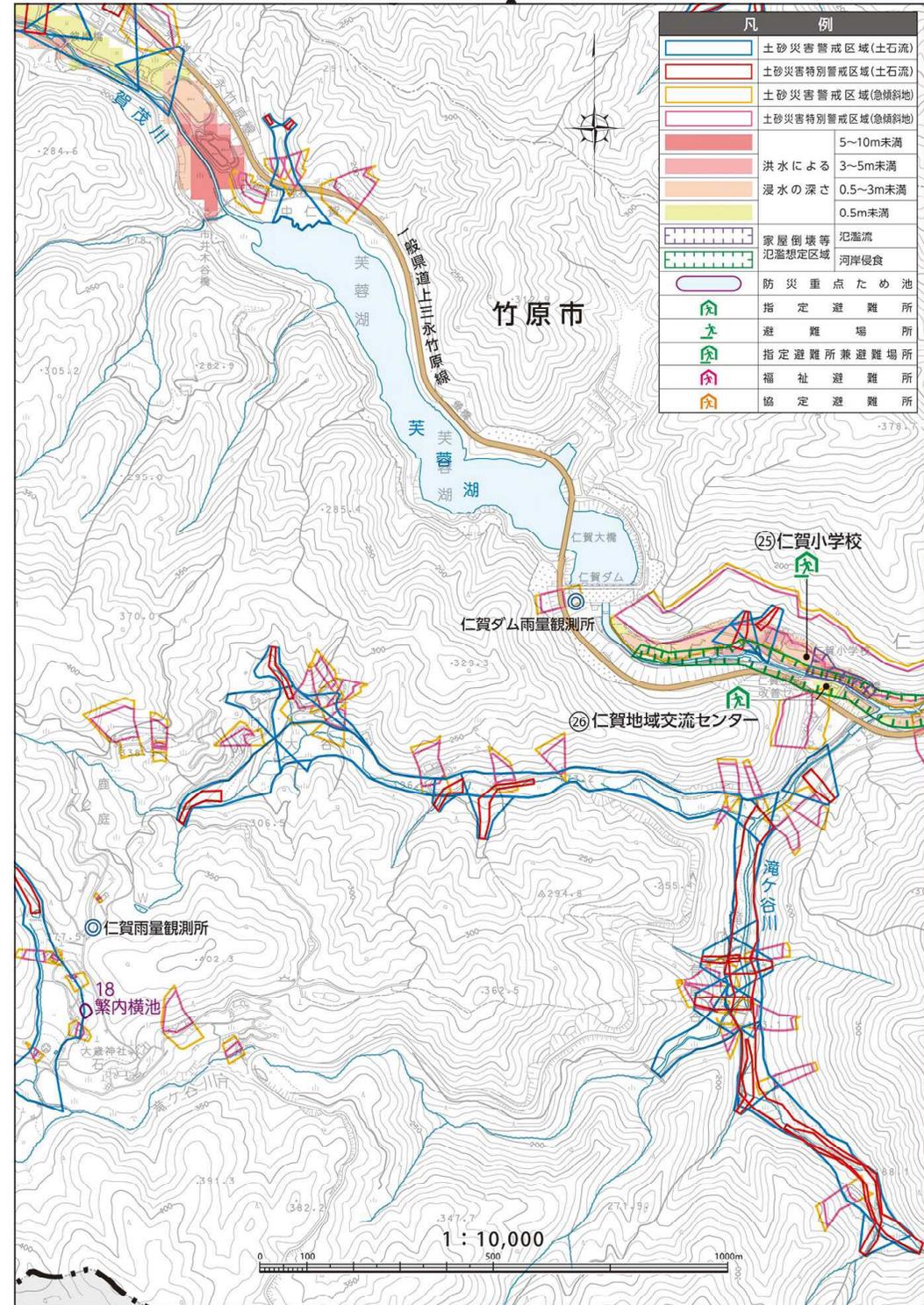
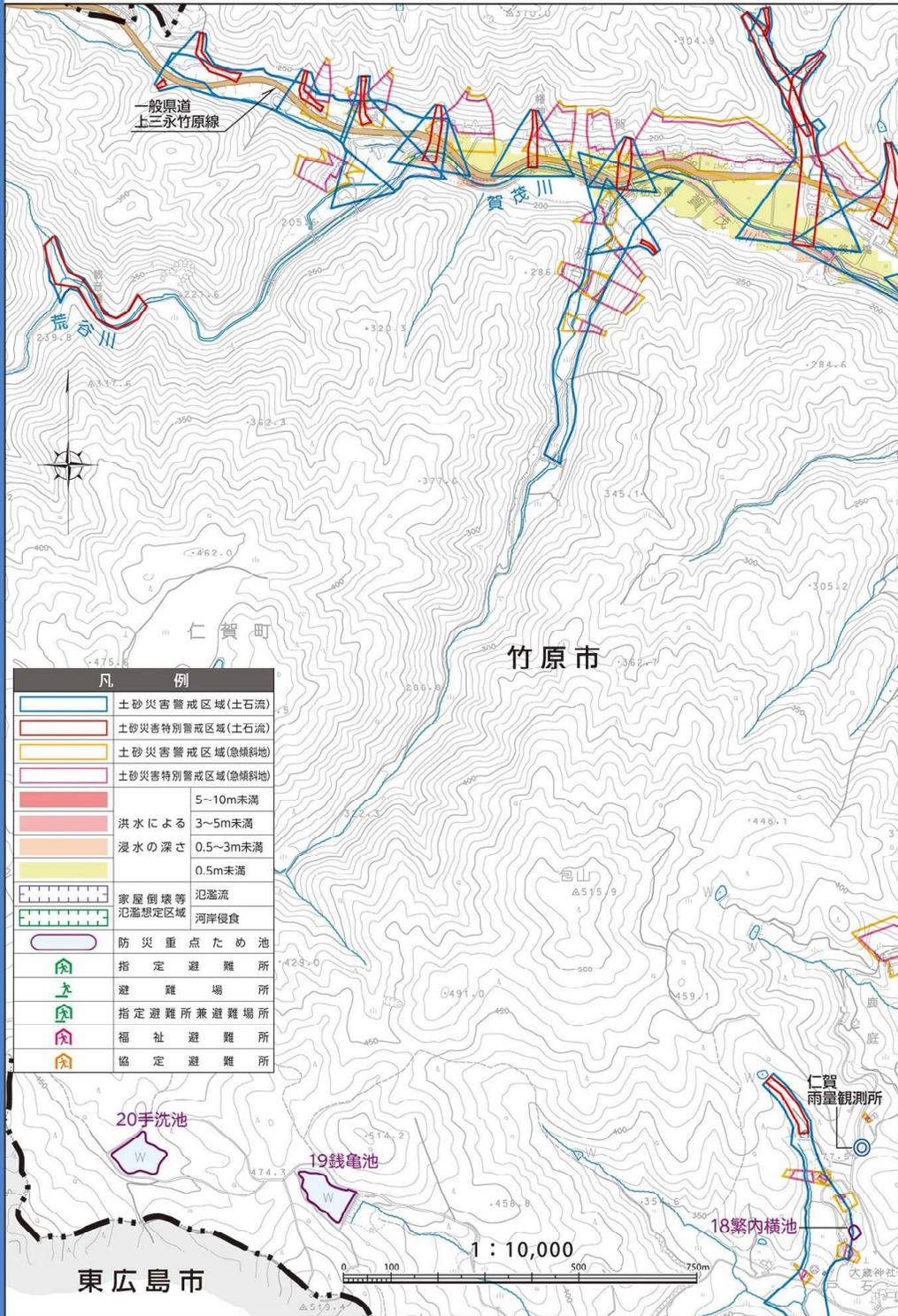
凡	例
	5m以上
	3~5m未満
	2~3m未満
	決壊による
	浸水の深さ
	0.5~1m未満
	0.2~0.5m未満
	0.2m未満
	氾濫水の最短到達時間線



凡	例
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	5~10m未満
	洪水による
	浸水の深さ
	0.5~3m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等
	氾濫想定区域
	河岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所

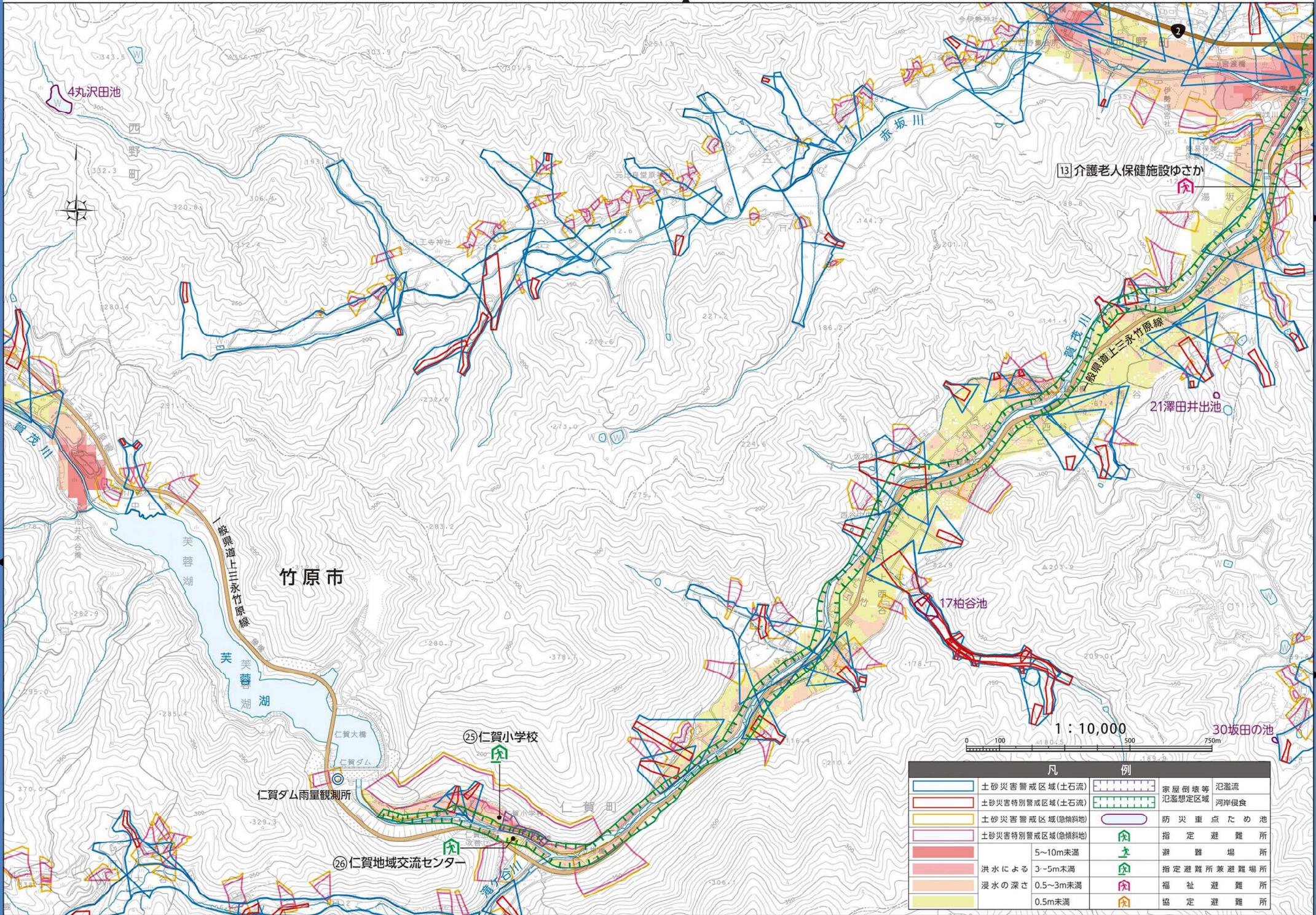


◆洪水・土砂災害ハザードマップ②



水害・土砂災害

水害・土砂災害



凡 例	
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	洪水による 5~10m未満
	洪水による 3~5m未満
	洪水による 0.5~3m未満
	洪水による 0.5m未満
	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	氾濫想定区域 河岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所

水害・土砂災害

2

7

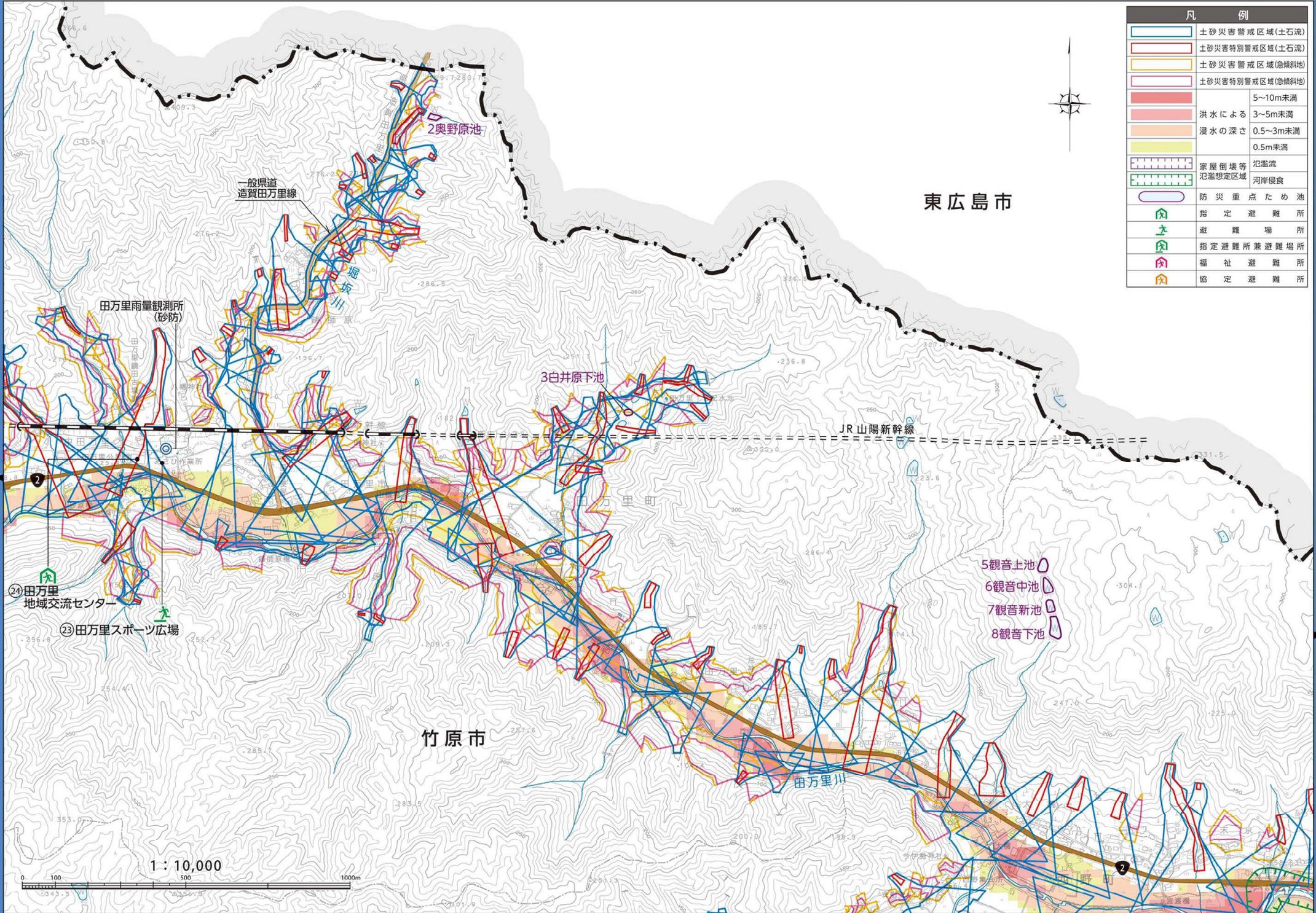
20

19

2

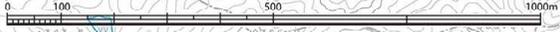
7

◆洪水・土砂災害ハザードマップ④



凡 例	
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	5~10m未満
	洪水による 3~5m未満
	浸水の深さ 0.5~3m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	河岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所

1 : 10,000



水害・土砂災害

水害・土砂災害

◆洪水・土砂災害ハザードマップ⑥

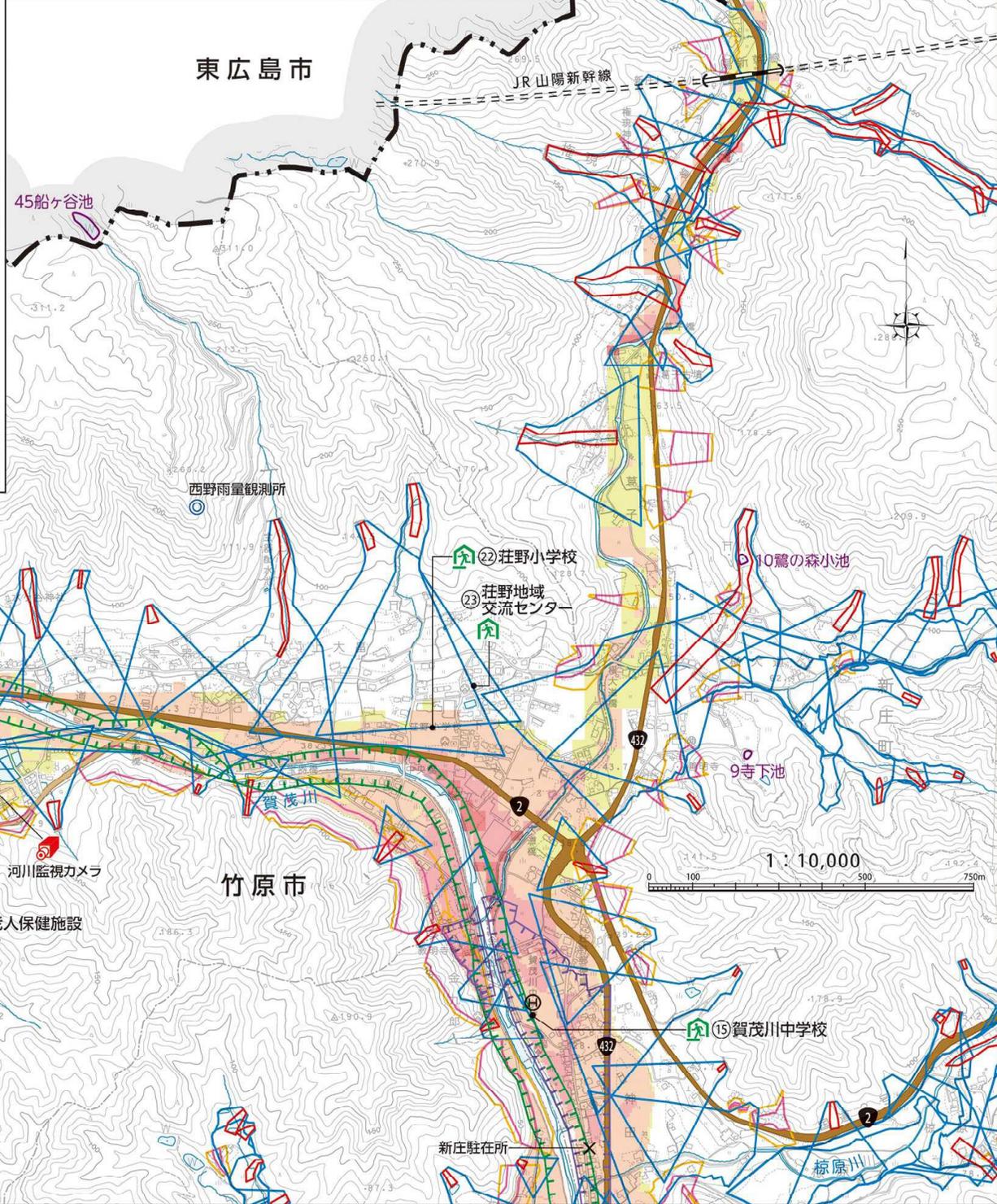
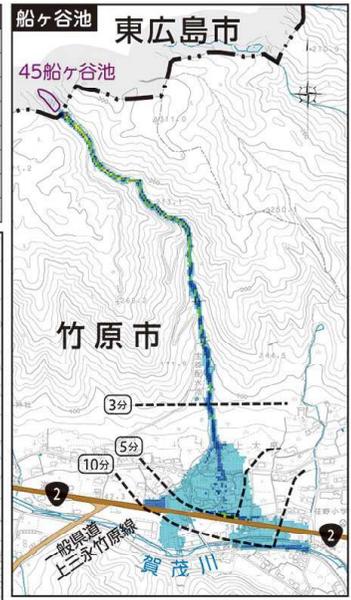
ため池ハザードマップ

ため池が満水状態の際に大雨や大地震を受け、堤防が瞬時に決壊するという最も不利な条件でシミュレーションを行っており、浸水が想定される最大の範囲を示しています。実際には、ため池の水位、決壊の過程、土地利用の状況等により、浸水する区域に差異があります。

1 : 15,000



凡	例
	5m以上
	3~5m未満
	2~3m未満
	決壊による
	浸水の深さ
	0.5~1m未満
	0.2~0.5m未満
	0.2m未満
	氾濫水の最遅到達時間線



- 5 観音土池
- 6 観音中池
- 7 観音新池
- 8 観音下池

凡	例
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	5~10m未満
	洪水による
	3~5m未満
	浸水の深さ
	0.5~3m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	氾濫流 河岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所

1 : 10,000



水害・土砂災害

6

24

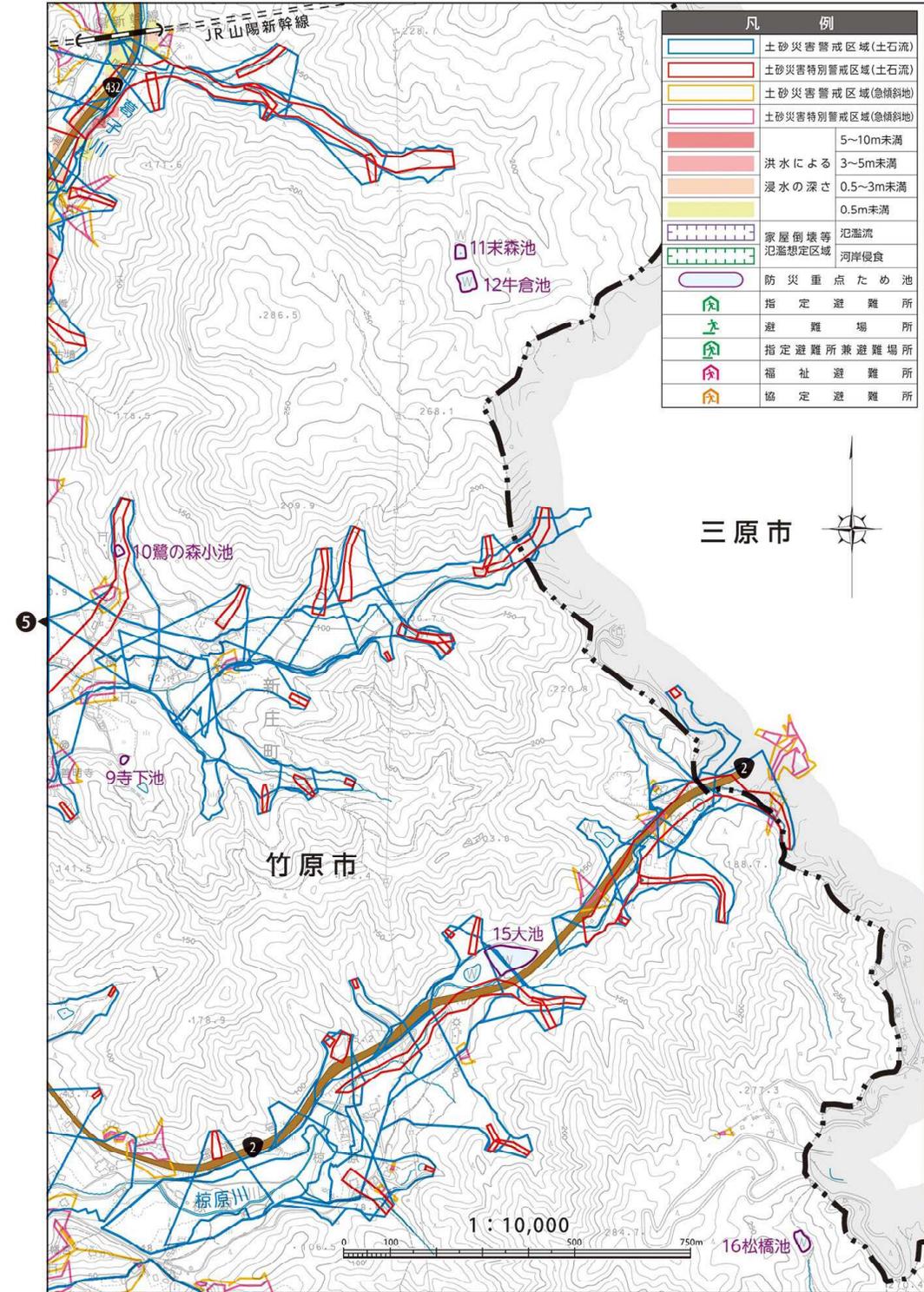
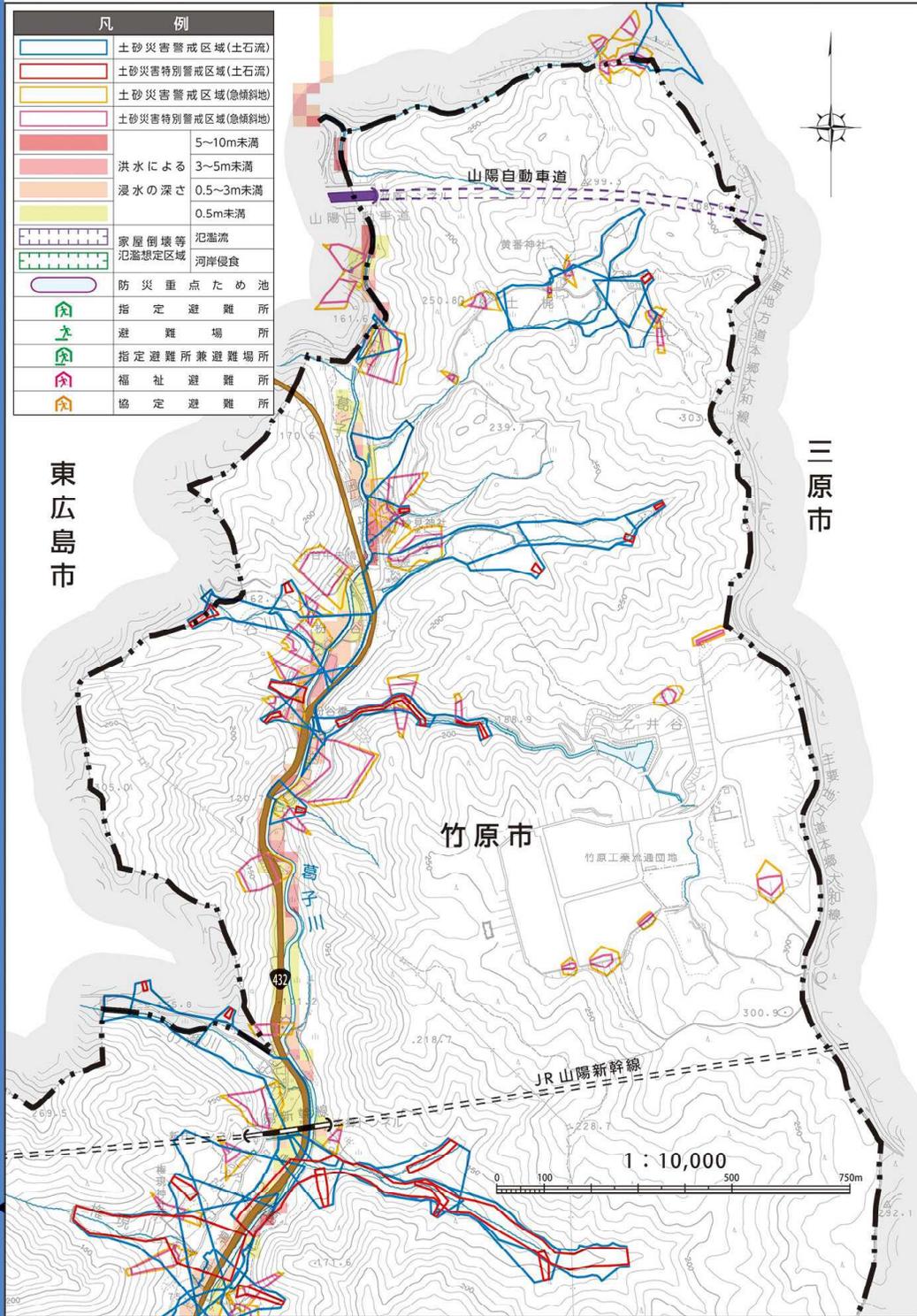
水害・土砂災害

4

3

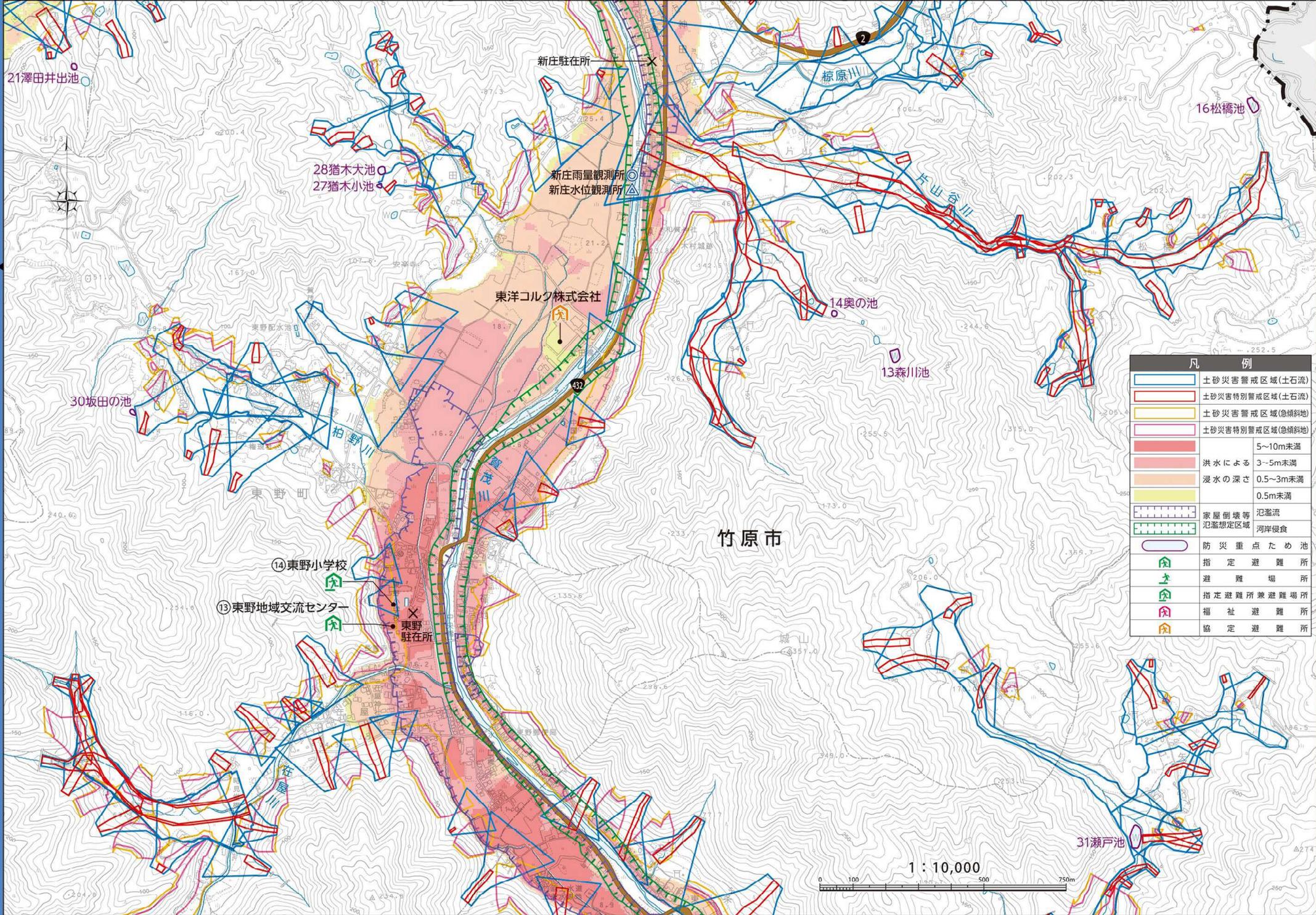
23

◆洪水・土砂災害ハザードマップ⑥



水害・土砂災害

水害・土砂災害

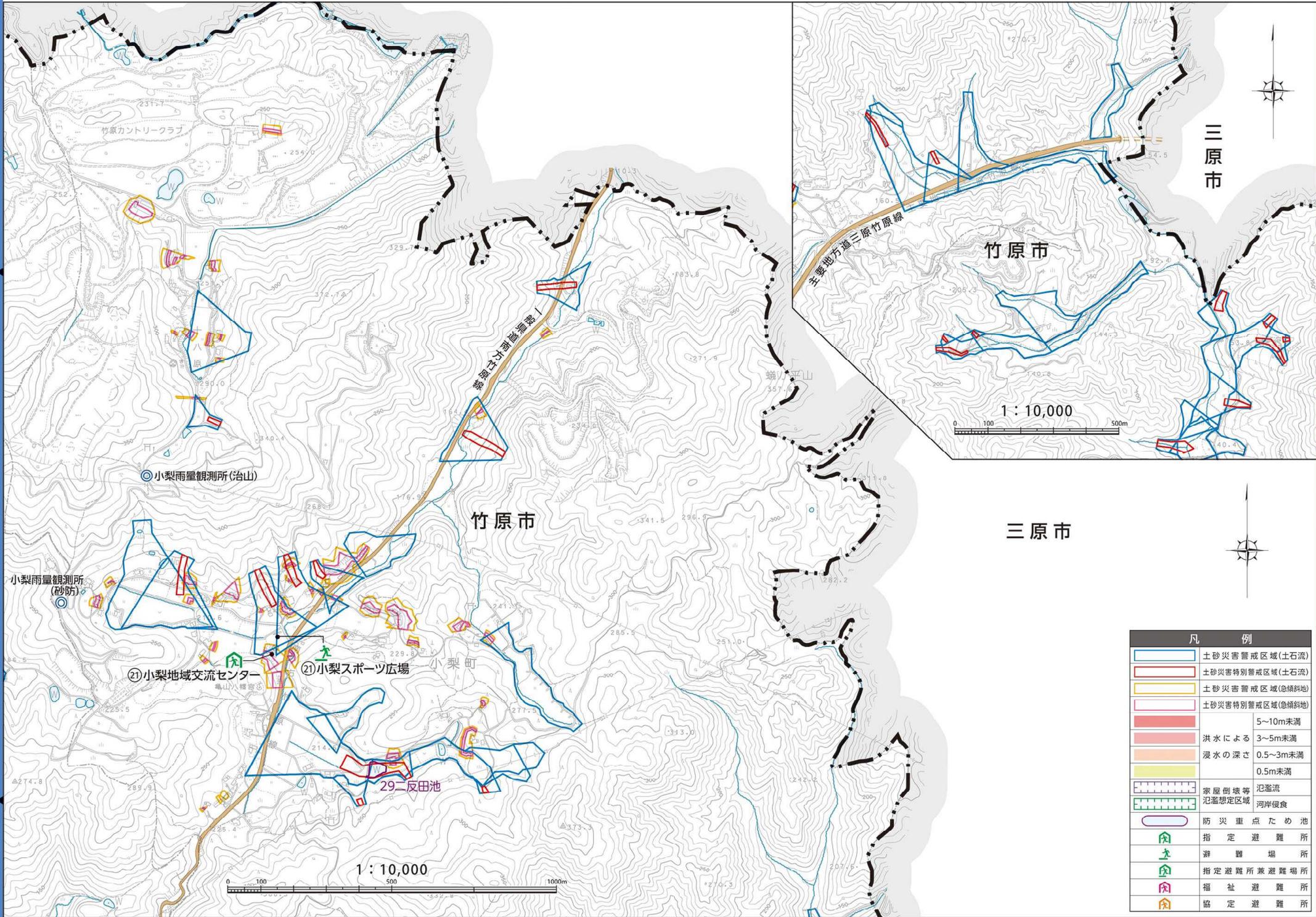


凡 例	
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	5~10m未満
	洪水による 3~5m未満
	浸水の深さ 0.5~3m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等 氾濫流
	氾濫想定区域 河岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所

1 : 10,000



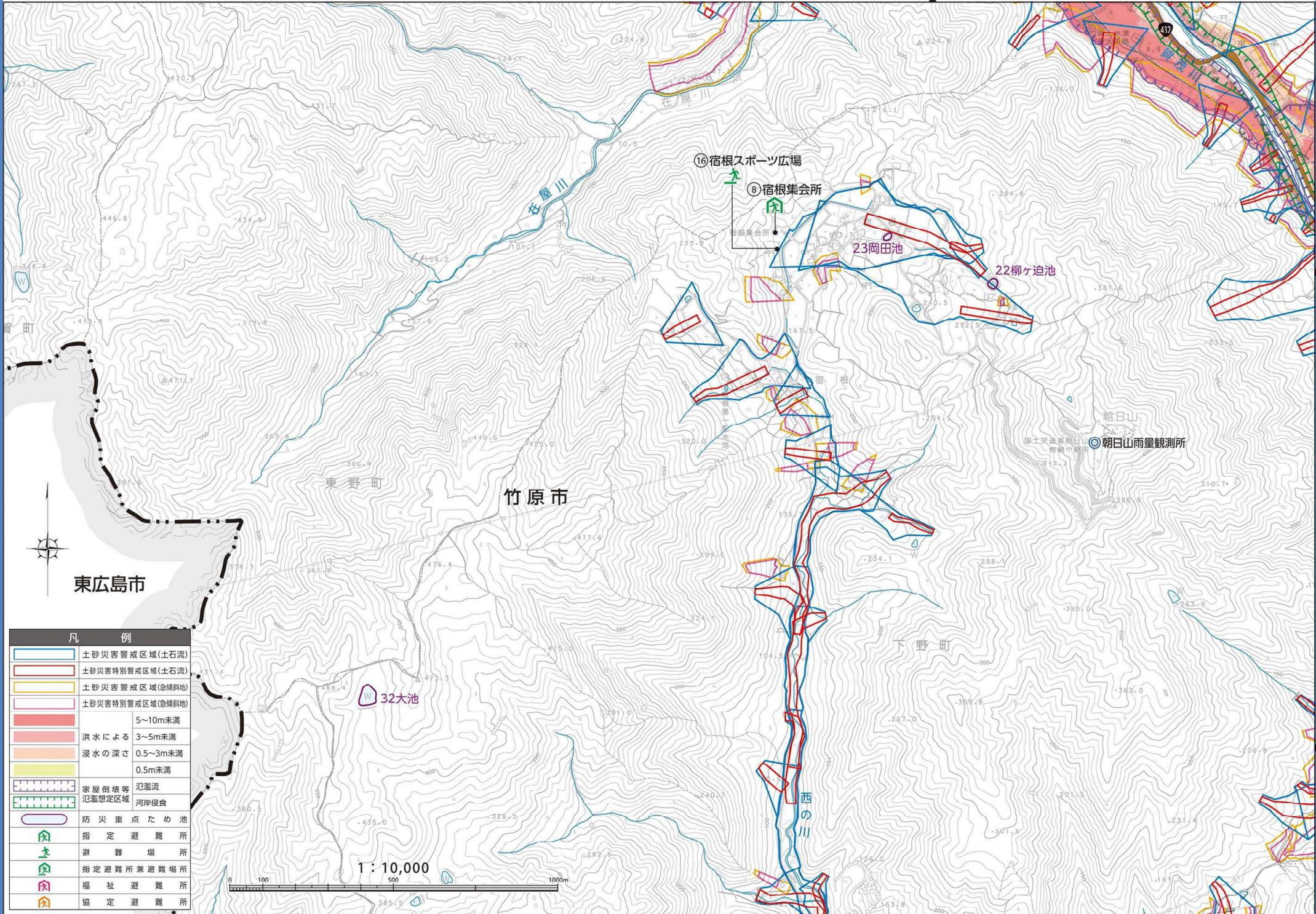
◆洪水・土砂災害ハザードマップ⑧



凡 例	
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	5~10m未満
	洪水による 3~5m未満
	浸水の深さ 0.5~3m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等 氾濫流
	氾濫想定区域 河岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所

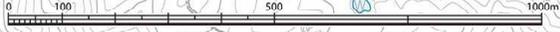
水害・土砂災害

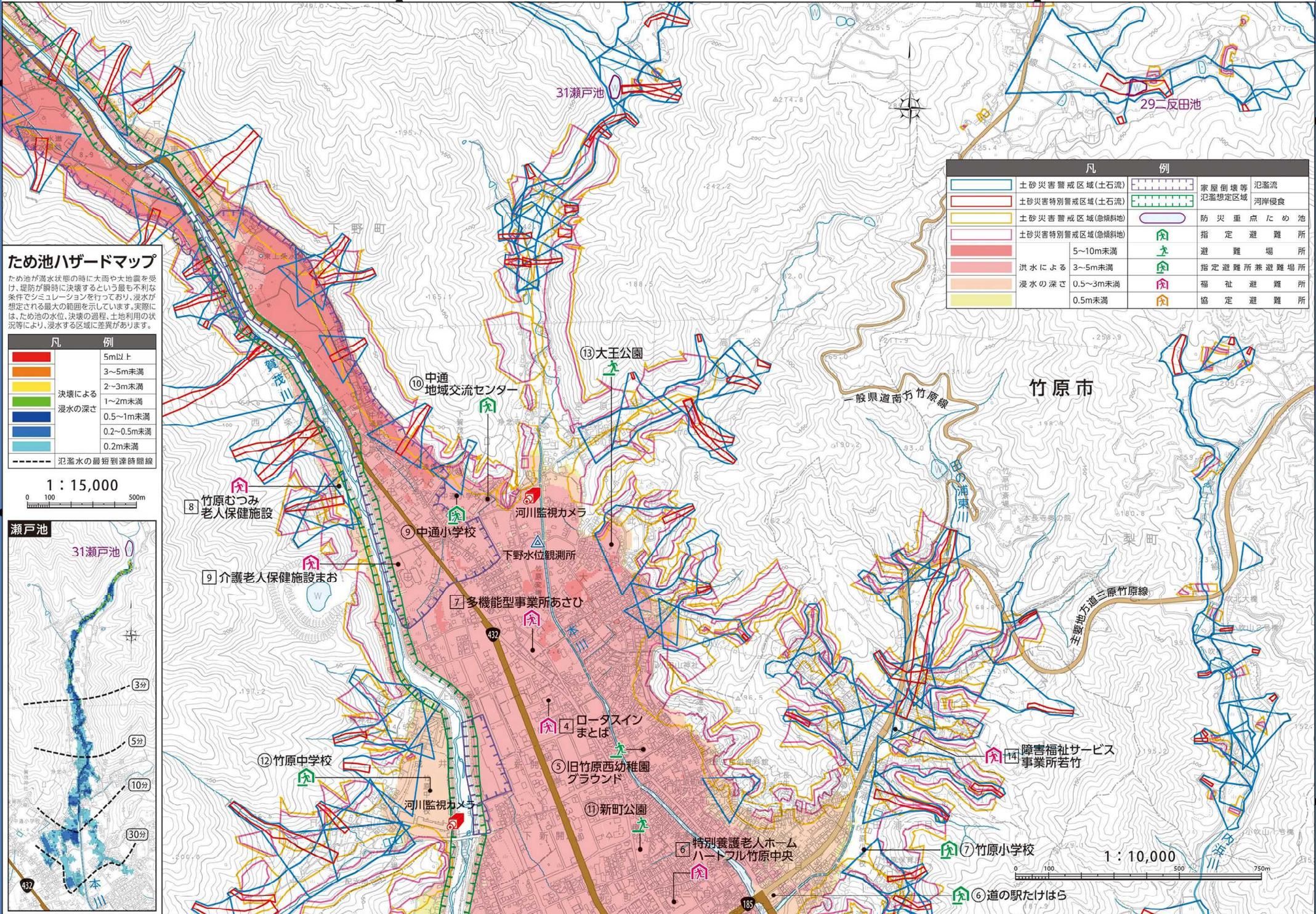
水害・土砂災害



凡 例	
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	5~10m未満
	洪水による 3~5m未満
	浸水の深さ 0.5~3m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等 氾濫流
	氾濫想定区域 河岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所

1 : 10,000

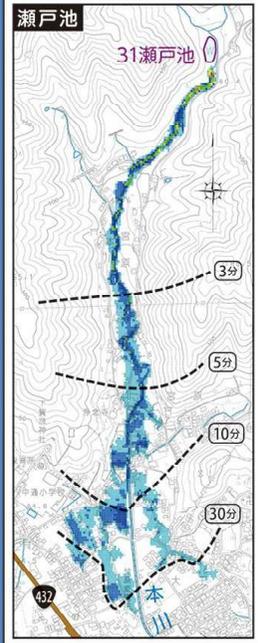
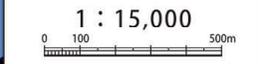




ため池ハザードマップ

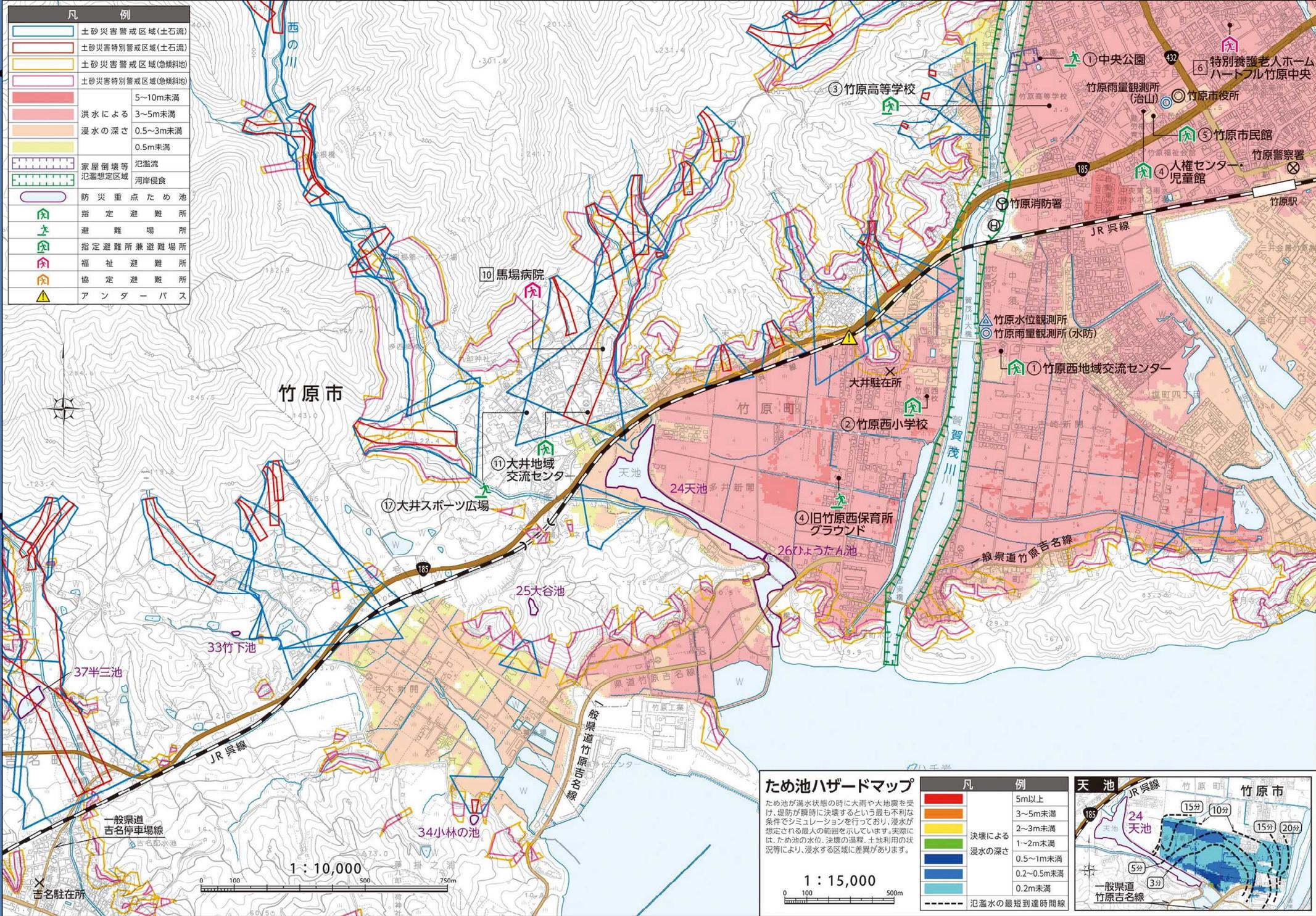
ため池が満水状態の時に大雨や大地震を受け、堤防が瞬時に決壊するという最も不利な条件でシミュレーションを行っており、実際には、ため池の水位、決壊の過程、土地利用の状況等により、浸水する区域に差異があります。

凡	例
	5m以上
	3~5m未満
	2~3m未満
	決壊による 浸水の深さ
	1~2m未満
	0.5~1m未満
	0.2~0.5m未満
	0.2m未満
	氾濫水の最短到達時間線



凡		例	
	土砂災害警戒区域(土石流)		家屋倒壊等 氾濫想定区域
	土砂災害特別警戒区域(土石流)		沿岸侵食
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)		防災重点ため池
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)		指定避難所
	5~10m未満		避難場所
	3~5m未満		指定避難所兼避難場所
	0.5~3m未満		福祉避難所
	0.5m未満		協定避難所

◆洪水・土砂災害ハザードマップ⑩

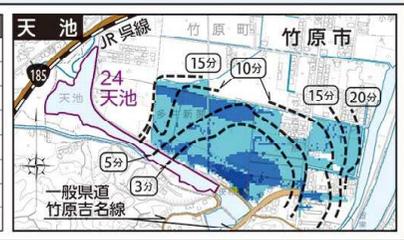


凡 例	
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	5~10m未満
	洪水による 3~5m未満
	浸水の深さ 0.5~3m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	河岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所
	アンダーパス

ため池ハザードマップ

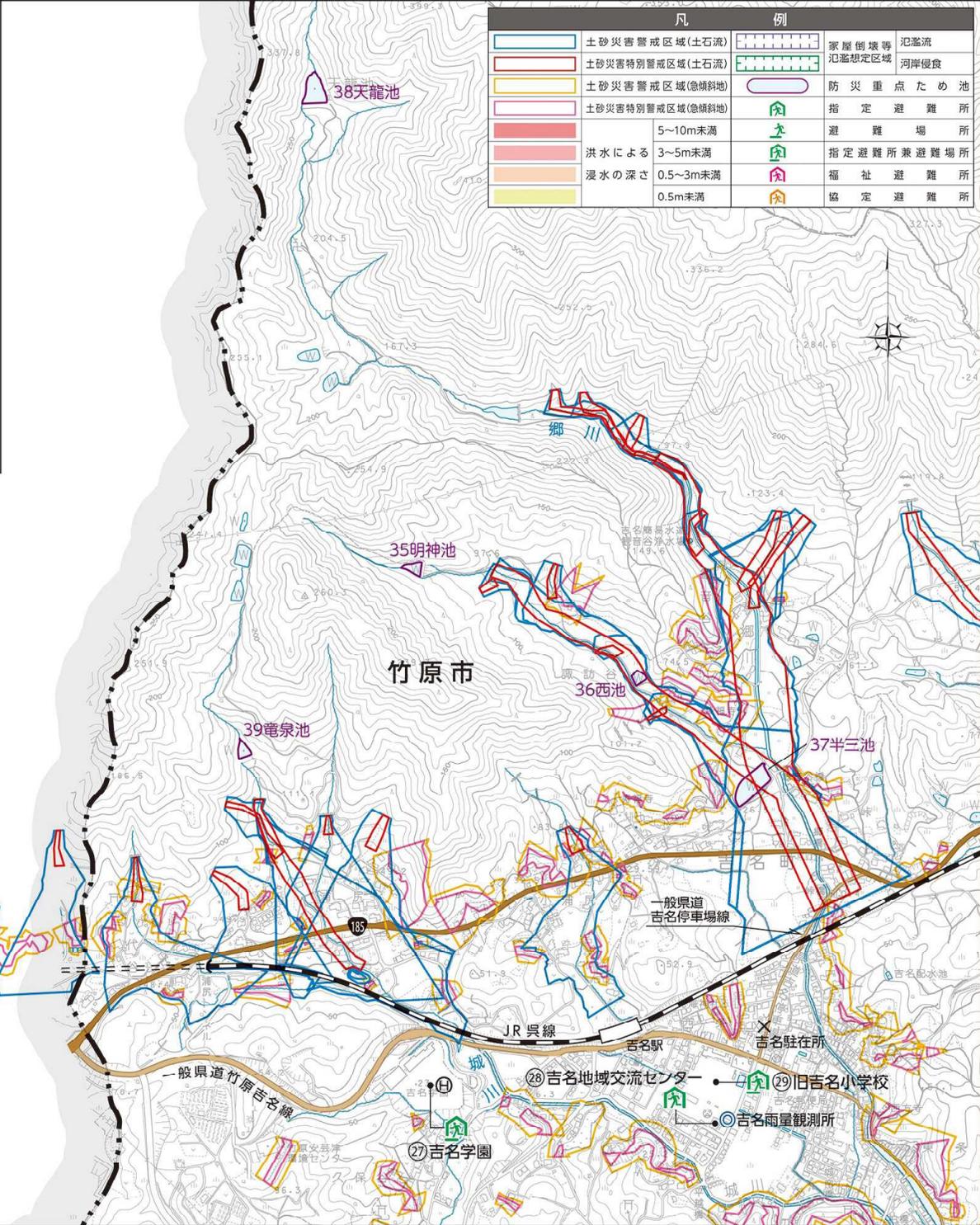
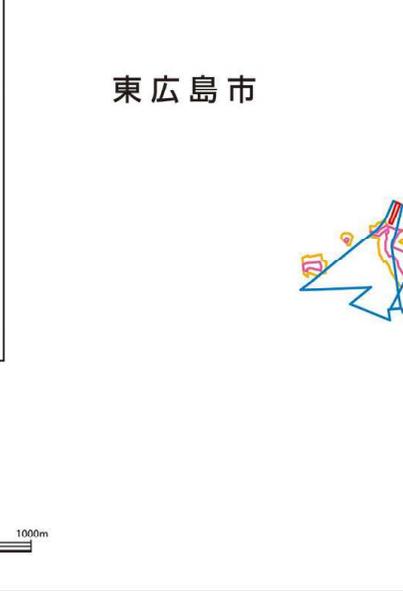
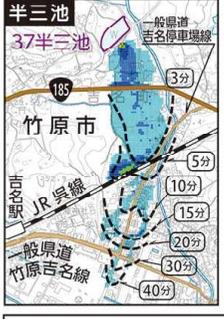
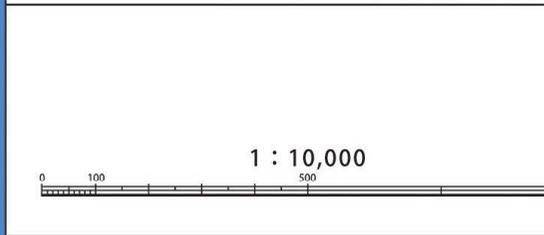
ため池が満水状態の時に大雨や大地震を受け、堤防が瞬時に決壊するという最も不利な条件下でシミュレーションを行っており、浸水が想定される最大範囲を示しています。実際には、ため池の水位、決壊の過程、土地利用の状況等により、浸水する区域に差異があります。

凡 例	
	5m以上
	3~5m未満
	2~3m未満
	決壊による 1~2m未満
	浸水の深さ 0.5~1m未満
	0.2~0.5m未満
	0.2m未満
	氾濫水の最短到達時間線



◆洪水・土砂災害ハザードマップ⑬

ため池ハザードマップ



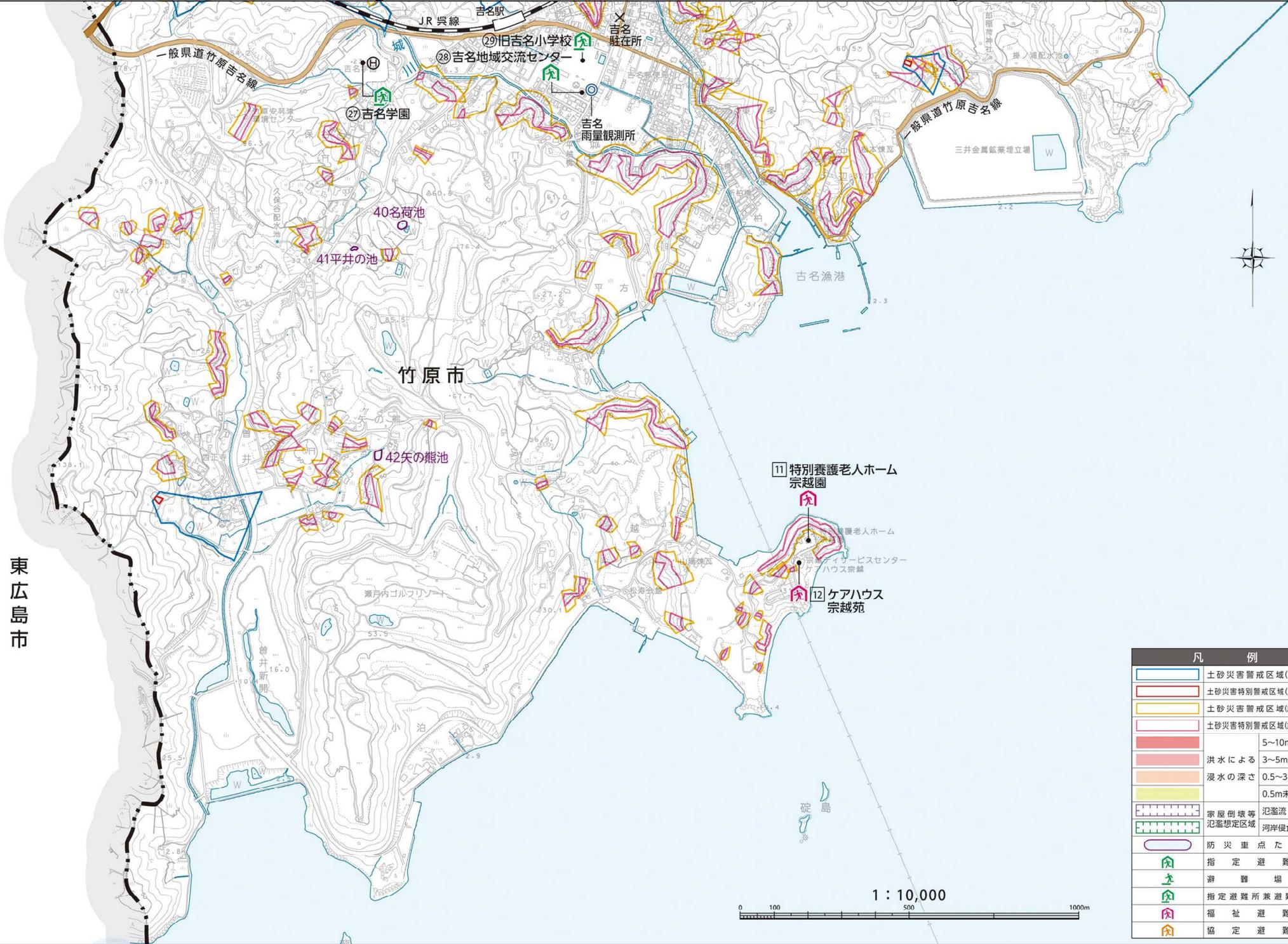
凡	例				
	土砂災害警戒区域(土石流)		家屋倒壊等 氾濫想定区域		氾濫流
	土砂災害特別警戒区域(土石流)		氾濫想定区域		河岸侵食
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)		防災重点ため池		指定避難所
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)		指定避難所		避難場所
	5~10m未満		指定避難所兼避難場所		福祉避難所
	洪水による 3~5m未満		福祉避難所		協定避難所
	浸水の深さ 0.5~3m未満		協定避難所		
	0.5m未満				

水害・土砂災害

14

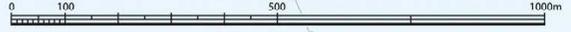
40

39



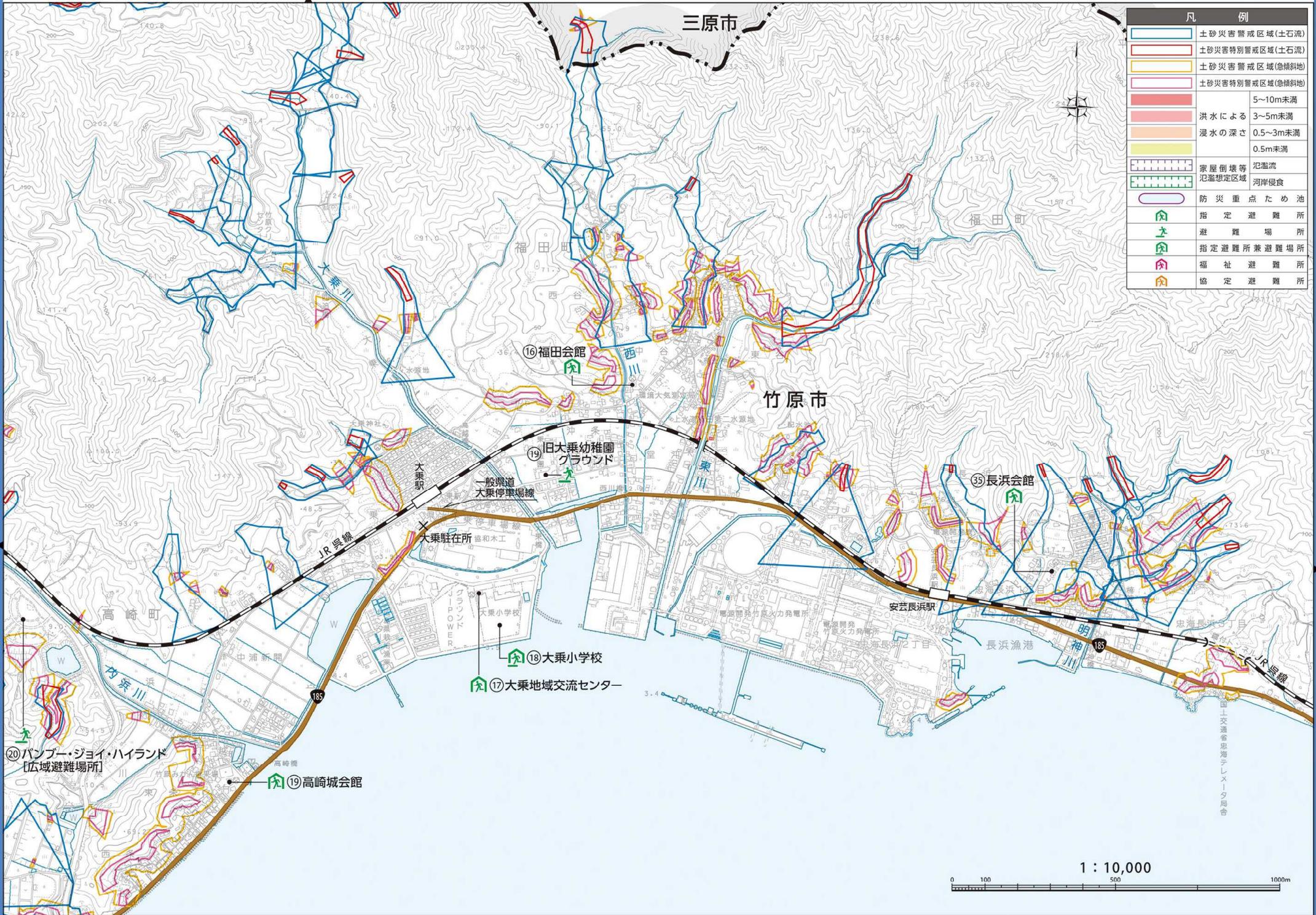
凡 例	
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	5~10m未満
	洪水による 3~5m未満
	浸水の深さ 0.5~3m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等 氾濫流
	氾濫想定区域 河岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所

1 : 10,000



東広島市

水害・土砂災害



凡 例	
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	5~10m未満
	洪水による 3~5m未満
	浸水の深さ 0.5~3m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等 氾濫想定区域
	沿岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所

水害・土砂災害

16

水害・土砂災害

11

1 : 10,000



国土交通省忠海テレメータ局舎

◆洪水・土砂災害ハザードマップ⑩



凡 例	
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害特別警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
	土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
	洪水による 5~10m未満
	洪水の深さ 3~5m未満
	洪水の深さ 0.5~3m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等 氾濫流
	氾濫想定区域 河岸侵食
	防災重点ため池
	指定避難所
	避難場所
	指定避難所兼避難場所
	福祉避難所
	協定避難所

1 : 10,000



竹原市

1 : 15,000



水害・土砂災害